

## とう校はんができたよ

平成七年度 一年 女児

「とう校はんのみんなで、きたんだよ。」入学しきのつぎの日、みさちゃんがおしえてくれました。わたしのあたらしいいえは、十月にならないとできません。まい日、「とう校はんがあつていいなあ。」とおもいながら、車で学校にかよいました。

九月のおわりころ、五人もひっこしをするので、あたらしいとう校はんではなしをしました。先生が、四年生のあし田くんに、「むかえにいつてあげてね。」といいました。とう校はんのみんなはやさしいのかな。わたしはちょっとしんぱいでした。

十月一日の日よう日、とうとうひっこしをしました。わたしは、「あしたからとう校はんだなあ。」とおもうと、うきうきうれしくて、よるは、ねれないくらいでした。あさになって、わたしはげんかんのまえで「おむかえ、きてくれるかな。」と、ずっとまっています。

あしだくんがやっとやってきたのでおかあさんは、

「よく見つけたね。」といいました。あしだくんは、わたしに、

「セジ三十五ふんから三十ふんまであつまるんだから、おくないようにきてね。」とおしえてくれました。わたしは、学校につくまで、きんちょうして、みんなとあまりおはなしができませんでした。

でも、きょうは、とう校はんちょうにも、いっぱいしゃべることができました。おにいさんたちにもおねえさんたちにも二くみのおいかわみかちゃんにも、いっぱいしゃべりました。よかったなあとおもったよ。とう校はんのおにいさんに、

「ここがあつまりばしょ。」ときいたら、やさしく、「そうだよ。」とおしえてくれました。

とう校はんちょうに、わたしはちょっとはずかしくなりました。わたしは、とうこうはんをぜったいやめたくないとおもいました。なぜかというと、みんなやさしいからです。わたしは、こここのとうこうはんがきに入って、大すきになってしまいました。いっぱい、たのしいともだちができそうです。はんちょうの名まえも、いつかききたいなどおもいました。